

西おきたま 米づくり情報 No. 8

令和7年7月4日
西置賜農業技術普及課

**葉齢展開が早く、生育は過剰気味！中干しがまだの場合はすぐ実施！
出穂は平年並み～3日程度早まる見込み！遅れず穂肥しましょう！**

出穂期は平年並み～3日程度早まる見込みです。穂肥は遅れずに実施しましょう。移植時期により生育に差がみられるため、必ず生育診断を行い、葉色が濃い場合は、減肥を行うなど、食味重視の穂肥に努めましょう。

○6月28日現在の生育状況（西置賜農業技術普及課 生育診断圃）

茎数はやや少ない～少なく、葉数は平年並み～やや少なく、葉色は平年並み～やや淡く、一般的に回復基調となっています。

「はえぬき」の生育（移植5月19日）

| 項目 | 飯豊町 | | 概況 (平年値との比較) |
|-----------------------|------|-------|-----------------|
| | 調査値 | 平年比・差 | |
| 草丈(cm) | 49.5 | 96 | やや短い |
| 茎数(本/m ²) | 534 | 86 | 少ない |
| 葉数(L) | 9.6 | -0.2 | 平年並み |
| 葉色(SPAD) | 44.1 | -0.4 | 平年並み |

「つや姫」の生育（移植5月16日）

| 項目 | 飯豊町 | | 概況 (平年値との比較) |
|-----------------------|------|-------|-----------------|
| | 調査値 | 平年比・差 | |
| 草丈(cm) | 53.6 | 105 | やや長い |
| 茎数(本/m ²) | 570 | 98 | やや少ない |
| 葉数(L) | 9.4 | -0.5 | やや少ない |
| 葉色(SPAD) | 42.2 | -0.6 | やや淡い |

「雪若丸」の生育（移植5月18日）

| 項目 | 飯豊町 | | 概況 (平年値との比較) |
|-----------------------|------|-------|-----------------|
| | 調査値 | 平年比・差 | |
| 草丈(cm) | 45.1 | 96 | やや短い |
| 茎数(本/m ²) | 677 | 93 | 少ない |
| 葉数(L) | 10.2 | +0.2 | 平年並み |
| 葉色(SPAD) | 46.0 | -1.3 | やや淡い |

1か月予報（6月27日仙台管区気象台発表）

気温：6/29～7/5：高い見込み
7/6～7/12：高い見込み
7/13～7/26：高い見込み
降水量：並み～多い見込み
日照時間：少ない見込み

直ちに中干し！作溝とセットで効率的な水管理！暑い夏に備えましょう

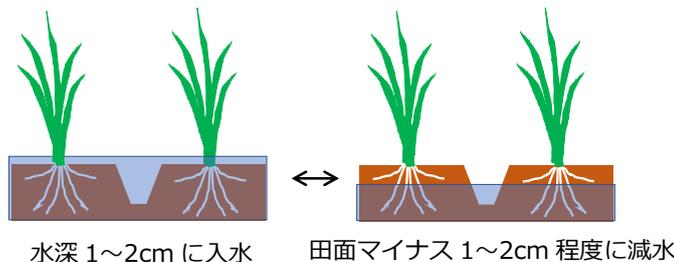
作溝の効果：間断かんがいの効率化 → 根の活力維持、地耐力の向上

作溝は、高温時の水管理“飽水管理”にも有効

中干しの効果：無効分げつの抑制、根の健全化、受光体勢の良化 → 登熟向上

○基肥一発肥料を施用している場合は、より適切な中干しと水管理が重要になります。

飽水管理のイメージ



飽水管理の様子

飽水管理のメリット

- 湛水管理と比べて
 - ◎夜間の地温が0.5℃程度低くなる。
 - ◎土壌を酸化的に保つことができ、根の活力が維持される

地表（田面）に水がないが、くぼみには溜まっていて、土壌が常に湿潤状態に保たれている

生育診断を必ず実施、遅れず穂肥！

○穂肥の施用時期は下表を目安にし、施肥量はそれぞれの品種の生育診断に基づき行いましょう。
出穂は平年並み～3日程度早まる見込みです。生育の早い圃場では遅れず穂肥を実施しましょう。

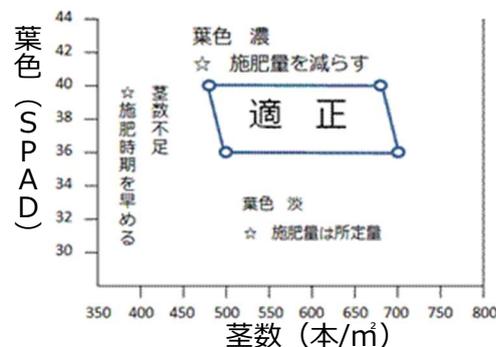
| 品種 | 出穂期 (本年予想) | 出穂期 (平年) | 穂肥の タイミング | 穂肥時期の 目安 | 施肥量 (N kg/10a) |
|-------|---------------|-------------|--------------|-------------|-------------------|
| ひとめぼれ | 7月31日～8月3日 | 8月3日 | 出穂 20 日前 | 7月 11～14 日 | 1.5 |
| 雪若丸 | 8月 1～4 日 | 8月 4 日 | 出穂 25 日前 | 7月 7～10 日 | 1.5 |
| はえぬき | 8月 2～5 日 | 8月 5 日 | 出穂 25 日前 | 7月 8～11 日 | 1.5～2.0 |
| つや姫 | 8月 7～10 日 | 8月 10 日 | 出穂 30 日前 | 7月 8～11 日 | 1.0～1.5 |
| コシヒカリ | 8月 7～10 日 | 8月 10 日 | 出穂 18～15 日前 | 7月 20～23 日 | 1.0～1.5 |

【幼穂長と出穂前日数】 ～親茎をむいて幼穂の長さで判断～

幼穂の長さ：出穂前日数 → 0.5～1 mm：25 日 1.5～2.0 mm：20 日 8～15 mm：18 日 2～5cm：15 日

はえぬきの穂肥診断 7月上旬（10 葉期）

- 茎数と葉色が適正内であれば、追肥は出穂 25 日前、窒素成分 1.5～2.0 kg/10a を施用する。
- 茎数が 700 本/m²以上、または葉色が 40 以上の場合、窒素成分を減らし、**1.0～1.5kg/10a に減肥する。**
- 茎数が 450 本/m²以下の場合、穂肥時期を早める。



斑点米カメムシ類注意報発令！発生多い！

- 発生量が多いため、早急に草刈りを実施し、密度を減らすことが重要です。
 - 7月20日頃まで畦畔・農道、雑草地の除草（草刈）を地域ぐるみでしっかり行いましょう。
 - 水田内のイヌホタルイやノビエはアカスジカスミカメの発生源となるため、残草対策もしっかり行いましょう。
- ※除草剤の使用時期を確認し、使用しましょう。



アカヒゲホソミドリ
カスミカメ



アカスジカスミカメ

葉いもちに注意！

- 感染に好適な条件が続いており、葉いもちの多発が懸念されます。
- しっかり圃場を観察し、**早期発見・早期防除を徹底しましょう！**



農作業事故・熱中症に注意！

- ◎ 「もうちょっと…」という無理が重大事故につながります。
- ◎ 熱中症予防のために水分補給と休息をしっかりと取りましょう！